

地域医療支援病院について



連携担当副院長 若山 達郎

当院は地域医療支援病院として、第一線の地域医療を担う近隣の医療機関の先生方と密接な連携を取りながら、北多摩北部医療圏の70万人を越える地域住民の皆様を中心に医療を提供させていただいております。

地域医療支援病院の要件には、医療連携の観点からみた紹介率・逆紹介率の基準や救急医療の提供のほか、医療機器等の共同利用や地域医療従事者に対する教育が含まれています。平成23年度のMRI・CT・核医学検査の共同利用実績は1,010件ですが、まだまだ余裕がございます。放射線治療や内視鏡検査につきましても、早めの実施が可能ですのでご利用いただければ幸いです。また、地域の医療機関の先生方が参加できる勉強会や研修を今後も開催して参りますので、積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。

今後も、地域の医療機関が連携し役割を分担しつつ医療を完結させる「地域完結型医療」の中核を担っていきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

医療従事者研修のお知らせ

講座名：「睡眠時無呼吸症候群」～外来による診断と治療の実際～

日時：平成24年11月16日(金) 19:00～20:30

会場：多摩北部医療センター 2階 大会議室

講師：呼吸器内科非常勤医師(田中クリニック院長) 田中 佐和子(睡眠時無呼吸症候群外来担当)

対象：医療従事者

その他：詳細に関しては同封の案内をご参照ください



患者さんの紹介に際して

《多摩北部医療センター 代表電話：042-396-3811》

《通常の予約》	予約センターへお電話下さい。 Tel: 042-396-3190・042-396-3511 (受付時間：月～金曜日 9時～17時/土曜日 9時～12時) ※当院受診の際は患者さんに紹介状(診療情報提供書)及びその他必要な資料を渡してください。初診時に紹介状がない場合は、保険外併用療養費として診療代その他に1,300円加算されます。
《急ぎの予約》	代表番号より地域連携係(内線2073・2169)へご連絡ください。 (受付日時：月～金曜日 9時～17時)
《救急の場合》	代表番号より救急外来あてにご連絡ください。 各科連携担当医・看護師・地域連携担当事務等が対応いたします。
《放射線検査の予約》	代表番号より下記へご連絡願います。 (受付日時：月～金曜日 9時～17時) CT・一般X線⇒(内線2236) MRI検査 ⇒(内線2600) 核医学検査 ⇒(内線2240) 放射線治療 ⇒(内線2073・2169)(地域連携係)
《内視鏡検査の予約》	代表番号より内視鏡受付(内線7475)へご連絡願います。 (予約受付日時：月・水・金 9時～15時)

《地域医療連携ニュース「たまほく」に関するお問合せ》

地域連携係 担当：内田、鈴木 代表電話番号 042-396-3811 内線 2073 E-mail renkei@tamahoku-hp.jp

(公財)東京都保健医療公社

平成24年11月



多摩北部医療センター

地域医療連携ニュース たまほく

45

〒189-8511 東京都東村山市青葉町1丁目7番地1 電話番号 042-396-3811 <http://www.tamahoku-hp.jp>



小児科のご紹介

《外来診療日》

	月	火	水	木	金
午前	・発達障害 ・頭痛・食物アレルギー ・シナジス	・頭痛・食物アレルギー ・シナジス	・神経・療育 ・内分泌・代謝 ・シナジス	・神経 ・発達障害 ・夜尿(第1・3週) ・シナジス	・神経・療育 ・発達 (第1・2・3・5週) ・神経(第2・4週) ・シナジス
午後	・発達障害 ・頭痛・食物アレルギー ・シナジス	・咽頭内視鏡(第4週) ・呼吸器(第1・2・3週) ・循環器川崎病(第2週) ・腎臓 ・シナジス	・神経・療育 ・内分泌・代謝 ・シナジス ・児童精神(第1・3週)	・呼吸器 ・頭痛・食物 (第1・3・5週) ・循環器川崎病(第4週) ・発達障害(第1・3週) ・発達(第4週) ・シナジス	・神経・療育 ・呼吸器 ・シナジス



部長：小保内 俊雅

▶専門外来のご紹介

小児科は地域医療機関と連携し、地域に暮らす子供たちの健やかな発育と発達を支援するために診療を行っています。また、当院は東京都立小児総合医療センターの特別連携病院として、様々な取り組みを行っています。

●呼吸器(担当:近藤)

呼吸機能検査など生理学的根拠に基づいた慢性呼吸器疾患の管理を行っています。

●腎臓(担当:新井田)

学校検尿の異常例や、ネフローゼや腎炎などの疾患に対応しています。また、尿路奇形や機能異常に伴う尿路感染症の長期フォローを行っています。

●神経(担当:小濱・玉川)

てんかんや神経変性疾患・神経筋疾患などに対して生理検査や画像診断などにより、専門的な診断と治療を行います。

●発達(担当:小濱)

自閉症・学習障害や注意欠陥多動性障害などを発達心理学や認知行動学・運動言語学的アプローチと共に診断と治療を行います。

●食物アレルギー(担当:小保内)

近年、急増している食物アレルギーを発達免疫学理論に基づいた的確な診断と、栄養科と協力した適正な食生活指導を実施しています。また、アレルギーのために予防接種実施に危険がある症例に関しては、ご紹介を頂いた症例に限り公費負担予防接種を実施しています。

●頭痛・睡眠(担当:小保内)

最も訴えが多く、診断治療が困難な頭痛を、神経生理学的・神経放射線学的手法を用いて診断と治療を行います。また、睡眠時無呼吸に関しては、ポリグラフ検査を行い、生理学的データに基づく診療を耳鼻咽喉科・歯科口腔外科と共同で進めています。

●内分泌・代謝(担当:仁科)

低身長や思春期早発など小児期における内分泌疾患の診断と治療を行います。また、小児期発症糖尿病に関してはインシュリンポンプの導入なども行っています。

●夜尿(担当:村上)

夜尿のメカニズムを正しく理解して適切に治療します。

●シナジス(担当:仁科)

低出生体重児、先天性心疾患のRSV感染を防ぐため、「シナジス」を投与する外来です。

●一般・救急外来

専門外来に該当しない症例や、緊急性の高い症例に対応しています。

入院診療に関しては新生児も受け入れています。昨年度の入院実績は述べ7,072名でした。疾患では、「喘息」「呼吸器感染症」「ネフローゼ」「川崎病」「てんかん」「アナフィラキシー」「新生児呼吸障害」など多様な疾患に対応しています。



神経内科のご紹介



部長：三谷 和子

《外来診療日》

	月	火	水	木	金
午前	●	●	●	●	●
午後					

地域医療機関の先生方と共に地域医療を支えるため、神経内科は「断らない医療」を実践します。

神経内科の2本柱は、「脳卒中を中心とする救急医療」と「神経変性疾患診療」です。

脳卒中では、北多摩北部脳卒中ネットワーク急性期病院として、tPA 静注療法を中心とする超急性期治療を脳神経外科と共にしています。当直時間帯でも受け入れます。また、髄膜炎やギランバレー症候群、てんかん重積などの救急医療も積極的に行っています。神経変性疾患の診療にも力をいれています。高齢化と歩行障害や認知機能障害は切り離せないのですが、パーキンソン症候群やアルツハイマー型認知症などが潜んでいる可能性があります。パーキンソン病は薬剤コントロールでADLは著明に改善します。アルツハイマー型認知症は高齢化になり、関心の高まりを反映しています。また、抗認知症薬が増えたことも加わり増えています。「認知機能評価」「海馬萎縮や脳血流の評価」を行い、治療を開始します。

当院は急性期病院のため、脳血管障害の慢性期治療や神経変性疾患の通常の外来診療は地域の先生にかかりつけ医をお願いし、病診連携をとらせていただいております。定期的な検査や診療はもちろん、症状変化時はいつでも対応いたします。また、1週間程度ですが、レスパイト入院も可能です。ご協力をお願い申し上げます。

地域の医療は地域で守るという使命を遂行すべく、今後ともご指導ご支援をお願い申し上げます。



歯科・口腔外科より



医長：潮田 高志

《外来診療日》

	月	火	水	木	金
午前	●	●	手術日	●	●
午後	●	●	手術日	●	●

※水曜日は手術日ですが当番制で診療を行っています。

口腔顔面部の疼痛を主訴に来院される患者さんの中には、時に口腔内に症状を説明できる器質的所見のない症例に遭遇することがあります。

当院においてもその様な患者さんをご紹介いただき治療に当たっておりますが、その様な症例のなかでも「**神経障害性疼痛**」といわれるものが散見されるようになりました。これは体性感覚神経の障害によって引き起こされる症状であり、口腔領域では過去に施行した拔牙や歯内療法などで生じることがあります。近年、「**神経障害性疼痛**」という言葉が医科、歯科界に広く知られるようになってきており、それに伴い本邦で治療薬の保険適応が認められるようになっております。

当科でもこのような口腔顔面部疼痛に対して歯原性から非歯原性まで範疇にいた、あらゆる検査・加療を積極的に施行しております。疼痛コントロールに難渋する症例など、精査・加療の御指示いただければ幸いです。



泌尿器科のご紹介



医長：野田 治久

《外来診療日》

	月	火	水	木	金
午前	手術日	●	手術日	●	●
午後	●	●	●		●

※水曜午後は排尿障害の専門外来となります。

連携医の先生方におかれましては、日頃より泌尿器科の診療に御協力頂き、誠にありがとうございます。当科では泌尿器領域がんの診断・治療に重点に置き、患者さんの負担を極力軽減できるよう低侵襲な診療を心がけています。

腎腫瘍、副腎腫瘍、腎盂・尿管がんに対する手術治療は、**腹腔鏡下手術を標準的な手術として導入し、ほぼ全例を腹腔鏡下手術で対応しております。**

膀胱がん、前立腺肥大症に対する経尿道的手術については、合併症の軽減を図るべく、電解質溶液を使用した手術への移行を進めています。また、高齢者に増加傾向のある前立腺癌に対する治療は、手術療法その他、放射線科と連携し、**密封小線源治療**や強度変調放射線治療（IMRT）による最新の放射線治療を行っています。特に**密封小線源治療は、導入より200例を超え、豊富な経験と良好な成績をおさめております。**

排尿障害については尿流動態検査等による客観的な評価に基づき対応しています。

これからも地域の泌尿器領域の診療に貢献できるよう努力していく所存でおります。PSAが高い、血尿、排尿障害等、泌尿器領域の患者さんの御紹介をよろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科病床再開のお知らせ

平成24年10月1日より新たに常勤医師（1名）を採用し、呼吸器内科疾患患者さんの入院対応が可能となりましたので、お知らせいたします。

- 新規採用医師：呼吸器内科医長 宮本 牧（みやもと まき）
- 資格：日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- 入院病床数：4床

《外来診療日》

	月	火	水	木	金
午前	●	●	●		●
午後					

ご挨拶

この度、呼吸器内科医長に就任いたしました宮本と申します。

呼吸器内科では、放射線治療や病棟薬剤師配置など当院の先端的機能を活用し、**肺がんの患者さんの治療に対応したいと考えております。**また、肺炎一般などの呼吸器疾患の患者さんにつきましては、従来から内科系各科で受け入れており、その体制には変更はございません。

CTなどの画像診断の検査待ち日数はかなり短くなっておりますので、**肺がん等の呼吸器疾患疑いの患者さんをご紹介下さい。**また、北多摩地域の近隣呼吸器専門病院ともよく連携しておりますので、専門病院に紹介すべきかどうか迷われた時にもご相談下さい。